

# 課題を明らかにする座標軸

## ～学んだことを活用するために④～

### ねらい

○講座等で学んだことや集めた情報等について、座標軸を使って整理することで、視点に沿った考えが促されるだけでなく、情報を可視化しながら整理できる。

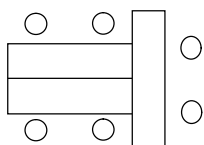
### 特徴

思考整理 ★★★★★☆  
 気付き ★★★★★☆  
 仲間作り ★★☆☆☆☆

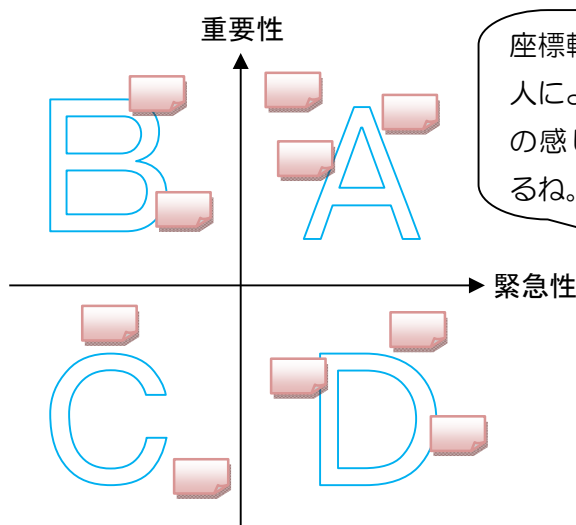
### 活動の様子

(1グループ 5～6人程度)

【グループのメンバーの配置例】



ふだんは、AやDに気を取られてしまうけれど、もう少しBに時間をかけたいわ。



座標軸の付箋紙の置き方で、人によって、重要度や緊急度の感じ方が違うことが分かるね。



【準備物等】

- ・座標軸シート (各グループ1)
- ・付箋紙

### 主な流れ (例)

- 1 テーマを確認し、活動のねらいを把握するとともに、見通しを持つ。  
 ※「保護者として行うべきこと」「学校の役割・機能」「食育を進める上での課題」等、現在行っている活動の取組や課題をテーマにする。  
 ※主催者は座標軸シートを使って事前に付箋紙を貼る活動を行っておくと、よりよいテーマを設定できるだけでなく、座標軸のサンプル例としても参加者に示すことができる。
- 2 テーマに沿って考えたことを付箋紙に書き、座標軸シートに貼る。  
 ※付箋紙1枚に、課題や取組・現状等を、1つだけ書いて貼るようにする。
- 3 出来上がった座標軸をもとに、グループごとに感想を交流し合う。

### 運営上の留意点

話し合いの過程で気付く「違い」を大切にしよう

この活動は、個人でも行うことができるが、グループで行うと、個人とは違って、付箋紙を貼る過程で、座標軸のどこに貼るか（緊急度・重要度）の感じ方の違いに気付くことができるという利点があります。その際、進行役は、無理やりグループで一つにまとめさせるのではなく、その「違い」から学べることを一緒に考えましょう。